

# 初等・中等教育現場の文化人類学

## —コミュニケーション能力を培うフィールドワークの手法—

近年、初等・中等教育の社会科授業やキャリア教育、修学旅行に、フィールドワークが積極的に組み込まれています。また、グローバル化や多文化共生の時代をむかえ、異文化理解教育や国際理解教育を実践されている学校も増えました。こうした教育の現場で、文化人類学やフィールドワークはどのように活かされているのでしょうか。社会科教育の範囲に留まることなく、21世紀の社会を生きる若者が相互に繋がりあうコミュニケーションの力を身につけるために、いま学校でできることを考えるのは大切なことです。

本研究会では、小学校と中学校、高等学校の教育実践の事例をご報告いただき、フィールドワーク教育の質の向上をめざして、教員相互の情報交換を行うとともに、協働の可能性をめぐってパネル・ディスカッションをおこないたいと思います。

皆さま万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

**日時：2010年2月7日（日）14：00～18：00**

**場所：京都文教大学・指月ホール**

〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足 80

※近鉄京都線「向島」駅下車。駅前スクールバス乗り場よりスクールバス5分  
(無料・当日も運行しています)

※問い合わせ先…Eメール：egp@th.kbu.ac.jp、TEL：0774-25-2893、FAX：0774-25-2481

### プログラム

14：10－14：50 横山聡洋（京都文教短期大学附属小学校教諭）  
「小学校の国際理解学習～イベントの実践を通して～」

14：50－15：30 蒲田 悟（京都市立伏見中学校教諭）  
「地域の事業所新聞を生かしたキャリア教育」

15：30－16：10 高垣恭志（私立上宮高等学校教諭）  
「『私のドイツ』を通じての異文化理解」

<休憩 15分>

16：25－16：45 コメンテーター：森茂岳雄（中央大学大学院文学研究科教授）

16：45－17：05 総合討論  
司会：松田 凡（京都文教大学人間学部文化人類学科教授）

17：05－18：00 懇親会

主催：京都文教大学人間学部文化人類学科

後援：京都府教育委員会（申請中）、京都市教育委員会（申請中）、宇治市教育委員会（申請中）

平成20年度文部科学省「質の高い大学教育プログラム」採択「文化コーディネーター養成プログラム—「モノ・ひと・地域を活かす大学ミュージアム」を活用した実践的人材育成教育—」関連事業

